

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	マザーファンドの受益証券へ投資を行うことで、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標にアクティブ運用を行います。	
主要投資対象	コモンズ30 ファンド	コモンズ30 マザーファンドの受益証券ならびに国内外の株式等を主要投資対象とします。
	コモンズ30 マザーファンド	国内外の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
投資制限	コモンズ30 ファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	コモンズ30 マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。 当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書

# コモンズ30ファンド


第4期（決算日：2013年1月18日）

### ◆受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

「コモンズ30ファンド」は、平成25年1月18日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

  
commons コモンズ投信株式会社  
asset management, inc.

東京都千代田区平河町二丁目4番5号 平河町Kビル5階  
<http://www.common30.jp/>

### ◆お問合せ先

コールセンター：TEL. 03-3221-8730

受付時間 9：00～17：00（土日祝日、年末年始を除く）

皆さまのおかげを持ちまして、「コモンズ30ファンド」の4期目の決算を迎えることが出来ました。これも、ひとえに皆さまのご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。基準価額も最高値水準で迎えることができ、その後も新高値を更新するなど全ての受益者の皆さまが、利益の出る水準で5期目をスタートすることが出来ました。当社は、お客さまの長期的な資産形成に貢献することを使命に活動しておりますが、途中経過とはいえ、こうした現状は本当に嬉しく思います。

さて、今年の年賀状や新年の各種会合では、久しぶりに明るいコメントが目立ちました。企業経営者や霞が関の官僚の方々とお会いしましても、とてもポジティブな姿勢が印象的です。景気は「気」からと言われますが、「アベノミクス」に対する期待が大ききことが窺えます。また、皆さまからいただいた年賀状には、この不透明で変化の激しい時代に、「じぶん年金」や「教育資金作り」を自助努力で始められた方々からの決意表明が多数ありました。まさに、こうした時代に自分スタイルを確立された皆さんは、環境に振り回されることなくしっかりと目標を定めて行動に移されていて、とても感激いたしました。同時に、こうした方々への期待にしっかり応えなくてはと、気持ちを新たにいたしました。

この一年では、お孫さまへこどもトラストサービスを展開する「まごころ」の開始や、有識者会議を主催し、日本版のチャイルドトラストの導入を政府に提言したりしてきました。少子高齢化などの課題を三世代で対応すること、全てのこどもたちが高等教育に進むための原資を作るスキームを提供すること、金融教育を広めていくことなどを考え行動してきました。今後は、欧州の事例をみるまでもなく、社会保障の見直しなどにより公的な制度は縮小していく方向にあることは明白です。これから訪れる『個人の自助努力が、本格的に求められる時代』に、皆さまと共に頑張っていきたいと考えています。長期的な資産形成のニーズに応じていくこと、それが本来の投資信託のビジネスであるはずだから。

これからも、皆さまのご理解とご支援のほど、何卒よろしくごお願い申し上げます。

コモンズ投信株式会社  
代表取締役

伊井 哲朗

## 目次

---

実績	● 設定以来の運用実績 .....	1
	● 当期中の基準価額と市況等の推移 .....	1
概況	● 当期の運用経過 .....	2
	● 収益分配金 .....	8
	● 今後の運用方針 .....	8
詳細	● 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細 .....	9
	● 売買および取引の状況 .....	9
	● 親投資信託受益証券の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 .....	9
	● 主要な売買銘柄 .....	10
	● 利害関係人との取引状況等 .....	10
	● 組入資産の明細 .....	10
	● 投資信託財産の構成 .....	10
	● 資産、負債、元本および基準価額の状況 .....	11
	● 損益の状況 .....	11
	● お知らせ .....	11
	● 寄付についてのご報告 .....	12
ご参考	● コモンズ30 マザーファンド .....	13

●設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	参考指数 (TOPIX)	期 中 騰落率	株 式 組入比率	純資産 総 額
(設 定 日) 2009年1月19日	円 10,000	円 —	% —	817.73	% —	% —	百万円 118
1期 (2010年1月18日)	14,396	120	45.2	957.55	17.1	90.2	462
2期 (2011年1月18日)	13,398	130	△ 6.0	931.58	△ 2.7	95.9	986
3期 (2012年1月18日)	11,489	0	△ 14.2	734.98	△ 21.1	85.2	1,383
4期 (2013年1月18日)	14,324	200	26.4	911.44	24.0	97.6	2,324

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。以下、同じです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

●当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率	参考指数 (TOPIX)	騰落率	株 式 組入比率
(期 首) 2012年1月18日	円 11,489	% —	734.98	% —	% 85.2
1月末	11,623	1.2	755.27	2.8	80.2
2月末	12,539	9.1	835.96	13.7	81.2
3月末	12,977	13.0	854.35	16.2	94.9
4月末	12,599	9.7	804.27	9.4	94.7
5月末	11,535	0.4	719.49	△ 2.1	91.0
6月末	12,009	4.5	770.08	4.8	95.5
7月末	11,748	2.3	736.31	0.2	94.5
8月末	11,804	2.7	731.64	△ 0.5	93.1
9月末	11,997	4.4	737.42	0.3	96.2
10月末	12,022	4.6	742.33	1.0	95.9
11月末	12,693	10.5	781.46	6.3	94.6
12月末	13,486	17.4	859.8	17.0	96.3
(期 末) 2013年1月18日	14,524	26.4	911.44	24.0	97.6

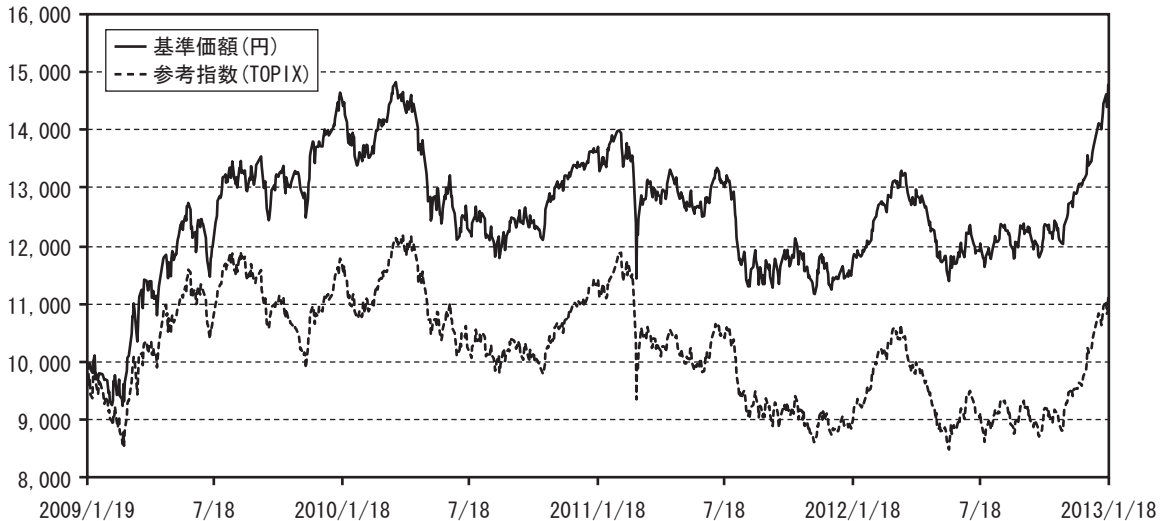
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

●当期の運用経過

■基準価額の推移

基準価額は期首に比べ26.4%の上昇となりました。

基準価額の推移



※当期末基準価額については、分配金（税引前）込みです。  
 ※基準価額は分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算した価額です。  
 ※コモンズ30ファンドが設定された2009/1/19～2013/1/18までの期間を示しています。  
 ※TOPIX：東証株価指数（東証市場第一部に上場しているすべての日本株を対象とした、時価総額加重型の株価指数）  
 ※参考指数（TOPIX）は、設定時を10,000として指数化した当社計算値です。

■基準価額の変動要因

国内株式市況を参考指数の東証株価指数（TOPIX）の推移で見ますと、期首に比べ24.0%の上昇となりました。今期も資産のほぼ全額をコモンズサーティ・マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）に投資しました。詳細な基準価額の変動要因については、マザーファンドの項で説明します。

る結果となりました。

■組入比率

株式の実質組入比率につきましては、期を通じて基本的に80%から96%の間で推移いたしました。

■参考指数（TOPIX）との比較

当ファンドはベンチマークを設定しないファンドではありますが、参考指数としてTOPIXと比較しますと、今期（第4期）2.4%TOPIXを上回

マザーファンドの運用経過は、以下の通りです。

## <コモンズ30 マザーファンド>

### ■基準価額の推移

基準価額は期首に比べ28.1%の上昇となりました。

基準価額の推移



※コモンズ30ファンドが設定された2009/1/19～2013/1/18までの期間を示しています。

※TOPIX：東証株価指数(東証市場第一部に上場しているすべての日本株を対象とした、時価総額加重型の株価指数)

※参考指数 (TOPIX) は、設定時を10,000として指数化した当社計算値です。

### ■基準価額の変動要因

国内株式市況を参考指数の東証株価指数 (TOPIX) の推移で見ますと、期首に比べ24.0%の上昇となりました。当期の外部環境及び投資先企業の概要は以下のとおりです。

#### ◎市況 (外部環境)

この一年は世界の景気後退に対し、先進国の中央銀行の踏み込んだ金融政策により、市況は大きな回復を示しました。米国では、FRBがQEⅢ (量的金融緩和政策 第3弾) の発動に加え、失業率とインフレ率を考慮した無期限と言われる異例の金融緩和を打ち出し、欧

州ではECBが無制限の国債購入を発表して欧州債務危機を鎮静化させました。一方、日本におきましては、12月に自民党の安倍政権が誕生し、日銀における欧米流の非伝統的な金融緩和の強化、大型補正予算、成長戦略を打ち出し、円安と株高が大きなトレンドとなりました。こうした政策転換を受けて、日経平均株価は1987年4月以来となる10週連続の上昇となりました。

◎投資先企業

コモンズ30マザーファンドの当期末における投資先は以下の30社です（証券コード順）。各企業の特長について、簡単にご紹介いたします。

銘 柄	選 択 の 視 点
日揮 (1963)	<b>アジア・アフリカの未来を創る国境なき技術団</b> 世界約70カ国、2万件以上のプロジェクト実績があり、他社に先駆けて海外展開しました。オイルメジャー、新興国からの絶大な信頼で、世界のエネルギー需要に貢献しています。また新興国の水処理等の環境事業へも参入し、成長を目指しています。
カカコム (2371)	<b>インターネットユーザーに「便利」を届け続ける</b> 価格.com（家電比較サイト）、食ベログ（レストラン口コミサイト）など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
ローソン (2651)	<b>時代を超えて、生活者に便利を届ける</b> 栄枯盛衰が激しく、成熟した企業が稀有な小売業において、資本政策、ガバナンスを意識した質の高い経営を実践しています。人口減、高齢化等の環境変化に対応すべく、他の業態や海外展開を試行錯誤しながら、持続的な成長を目指しています。
クラレ (3405)	<b>真似できないアナログ化学会社</b> 製造技術が必要で、他社が真似し難い製品を作っています。液晶の偏光板に用いられるポバールフィルム、自動車用ガソリタンクに用いられるエパールなどでは、圧倒的なシェアを誇ります。
旭化成 (3407)	<b>伝統企業の事業転換</b> 化学繊維事業から医薬・エレクトロ事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓が世界第2位、リチウムイオン電池セパレーターは世界第1位です。
信越化学 (4063)	<b>戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性</b> 収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジー、双方で高いシェアを獲得しています。
エア・ウォーター (4088)	<b>ねずみの集団経営で景気の全天候対応</b> 酸素、窒素、アルゴンなど、社会に必須の産業ガスを販売しています。国内2強として着実にシェア拡大を図るとともに、様々な領域で強固なポジションを構築し、事業分散を図りながら、不況期にも強い経営を目指しています。哺乳類で最も繁栄した「ねずみ」の特長に模した経営モデルです。
エーザイ (4523)	<b>患者家族まで心を配る徹底したステークホルダー経営</b> 世界的な競争力のある創薬メーカーです。企業理念の定款への記載や、役員選任理由を明確にした200ページの株主総会招集通知の作成などガバナンスの基本観がとてもしっかりしています。

コモンズ30ファンド

銘 柄	選 択 の 視 点
<p>久光製薬 (4530)</p>	<p><b>貼り薬で世界の人々を癒す</b> 患者や医師の声をよく聴き、主力製品モーラステープは発売後十数回にわたり改良を重ねるなど、継続的改善の文化を持っています。貼付剤は経口剤にない利便性や効用が認められ、鎮痛剤から他の治療薬に広がると考えられています。</p>
<p>第一三共 (4568)</p>	<p><b>勇断により、ハイブリッドモデルを実現</b> 開発に強みを持つ、三共と第一製薬の統合により誕生しました。インド最大のジェネリック製薬企業ランバクシーを買収し、新薬、ジェネリック、ワクチン、大衆薬の4事業を組み合わせた新事業モデルで、先進国と新興国双方での成長を目指しています。</p>
<p>楽天 (4755)</p>	<p><b>強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業</b> 社内公用語の英語化、海外起業買収、プロ野球参入など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。</p>
<p>資生堂 (4911)</p>	<p><b>銀座も、アジアも、美しく</b> 巨大市場の中国、アジアで認められた美の感性、アジア人の肌を知り尽くした技術、おもてなしの心（接客力）が成長の牽引力となっています。</p>
<p>リンナイ (5947)</p>	<p><b>「熱」を通じて「快適な暮らし」を提供</b> 給湯、暖房のトップメーカーです。製品デザインの刷新、製販一体の全員経営、経営の見える化などの経営革新の成果が現れています。創業期より海外展開を行っており、韓国、インドネシア、インド、オーストラリアなどでも、強いブランドを築いています。</p>
<p>ディスコ (6146)</p>	<p><b>kiru, kezuru, migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー</b> 半導体やLEDの製造に欠かせないグラインダーやダイサーなどを製造しています。「誰が正しいかではなく、何が正しいか」など、ディスコバリューで自社の経営体制も磨き続けています。</p>
<p>SMC (6273)</p>	<p><b>呼ばなくても来るサポート体制で、じりじりシェア拡大</b> 工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップを誇ります。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械から、医療および食品関連でも成長を続けています。</p>
<p>コマツ (6301)</p>	<p><b>世界のインフラを作る日本のモノづくり力&amp;IT力</b> 多角化の失敗から学ぶ姿勢、キャタピラーに並ぶ競争力、それを支えるコマツウエイ(文化)、建設機械をインターネットに繋ぐ新しいビジネスモデルが強みです。</p>
<p>クボタ (6326)</p>	<p><b>日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与</b> 長期的に世界の食糧需要が増加するなか、世界の競合企業に比べて、水田用、中小型の農機具で高い競争力を持っています。今後は、特にアジアでの成長が期待されます。</p>



コモンズ30ファンド

銘 柄	選 択 の 視 点
<p>ダイキン工業 (6367)</p>	<p><b>世界一、快適な空気をつくる</b> 世界に誇る日本の省エネ技術、強い販売力、優れた商品力が競争力の源泉であり、アフターケアとメンテナンスを絡めた総合力が抜群です。</p>
<p>マキタ (6586)</p>	<p><b>環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる</b> リチウムイオン電池搭など、軽量・低振動で使用者の健康に配慮をした製品開発を行い、利用時間が長いプロ向けで高いシェアを獲得しています。ものづくりだけでなく、保守メンテナンス体制も充実しており、先進国では原則3日で対応可能な修理体制を構築しています。</p>
<p>堀場製作所 (6856)</p>	<p><b>「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大</b> 創業者経営哲学「おもしろおかしく」を継承し、国際展開、自動車用から科学（研究）用、半導体用、現在の医療用まで、時代に応じて事業分野を拡大中です。ニッチ市場で高いシェアを誇り、事業分散と地域分散を組み合わせたマトリックス経営をしています。買収・提携も巧みです。</p>
<p>シスメックス (6869)</p>	<p><b>起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1 成長するグローバルニッチのリーダー</b> 血液検査機器では、国内第1位、世界第9位、特に血球計数分野では世界No.1の実力を誇ります。更に、赤血球分析から、免疫、DNAへ。大学、研究所、病院を顧客に急発展し、サステナブル企業として成長を続けています。</p>
<p>日東電工 (6988)</p>	<p><b>柔軟変化し、持続成長グローバルエリアニッチトップ</b> 成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに品質や価格を調整し、シェアの獲得を目指しています。</p>
<p>日産自動車 (7201)</p>	<p><b>変化の激しい時代に成長する</b> ゴーンCEOによる欧米流の迅速かつ強烈な意思決定と、脈々と受け継がれてきた日産の技術力が融合されています。ルノーとの共同購買や積極的な新車投入などによって、新興国へも展開できる体制が強みです。</p>
<p>ホンダ (7267)</p>	<p><b>夢と技術で、難局をチャンスに変える</b> お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ（移動体）を適正価格で提供しています。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。</p>
<p>丸紅 (8002)</p>	<p><b>規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに</b> 相対的に資源比率が低いことが特徴の一つです。バリューチェーンを構築し、景気の影響を受けにくいトレーディングなど、安定した収益体制を確立しています。特に、食料（穀物）、電力（新興国での発電）などの事業領域に強みを持っています。</p>

銘 柄	選 択 の 視 点
東京エレクトロン (8035)	<p><b>創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社</b>  「医療や環境、新しい産業の未来を考えるとチップの将来は無限」と会長は確信、商社から出発し、今や世界トップの半導体製造であるアプライドマテリアルの背中まで迫っています。また、経営はクレドの心温まるメッセージで牽引、愚直で本質的な挑戦を続けています。</p>
三菱商事 (8058)	<p><b>変化に強い組織力で、進化し続ける</b>  地球規模の視点で、事業（非金融）と投資（金融）を組み合わせるとい世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続けると思います。</p>
ユニ・チャーム (8113)	<p><b>世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長</b>  これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアで成長を目指しています。経営の仕組み化や他社から学び、継続的改善を行っていることは、強みの一つです。</p>
ベネッセホールディングス (9783)	<p><b>「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す</b>  日本の通信教育事業において、圧倒的なシェア（約90%）を誇ります。国内教育事業で培った知恵を用い、海外展開（台湾、中国、韓国）と事業領域拡大（介護、語学）で、変化し続ける環境を乗り越えて成長を目指しています。</p>
ファーストリテイリング (9983)	<p><b>チャレンジ精神で世界の服と常識を覆す</b>  販売だけではなく、自ら製造も行う「製造小売業」です。日本発で世界の小売企業に挑戦しています。ファッション性の追及ではなく、ヒートテックに代表される「ベーシック＋機能性」が世界の競合企業に勝っています。</p>

## ■参考指数（TOPIX）との比較

当ファンドはベンチマークを設定しないファンドではございますが、参考指数としてTOPIXと比較しますと、今期（第4期）は、当ファンドの騰落率が26.4%（信託報酬など手数料控除後）、同期間のTOPIXの騰落率は24.0%となり2.4%上回る結果となりました。

設定来では当ファンドの騰落率は47.7%（期間内の分配金込み）、同期間のTOPIXの騰落率は11.5%となり36.2%上回る結果となりました。

今期は期末にかけて円安感応度の高い銘柄を中心に上昇しましたので、日東電工、シスメックス、マキタ、ダイキンなどが大幅に上昇してファンドのパフォーマンスに寄与いたしました。一方、楽天、資生堂、東京エレクトロン、クラレなどは相対的にパフォーマンスが悪くなりました。

## ●収益分配金

収益分配金につきましては、基準価額の水準および分配可能収益等を考慮し、今期は200円といたしました。この分配金につきましては、税金控除後に全額再投資いたします。収益分配金にあてなかった利益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。なお収益分配金の計算過程につきましては、11ページ記載の●損益の状況の〈注記事項〉をご参照ください。

## ■分配原資の内訳（単位：円、1万口当たり、税引前）

	第 4 期
当期分配金	200
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,324

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ●今後の運用方針

### <コモンズ30ファンド>

コモンズ30マザーファンドの組入比率は運用の基本方針に従い、引き続き高水準を維持する方針です。

### <コモンズ30 マザーファンド>

皆さまのコモンズ30ファンドの運用は5期目に入ります。

丁度、決算を迎えた1月第3週末で日経平均

株価は10週連続の上昇となりました。これは、1987年4月24日以来のことですから少々、驚きです。まさに、「アベノミクス」効果なのでしょう。2012年は米国、中国、フランス、ロシア、ギリシャ、台湾、韓国など世界中で政権交代の可能性のある選挙が続きましたが、日本の政権交代だけが市場に大きなインパクトを与えました。国民や世界中の投資家の期待に上手く働きかけることの出来た安倍政権のスタートは、高く評価できると思います。今後は、この期待を成果に結びつけていくことが求められますが、具体的には、追加の金融緩和や大型の補正予算での景気対策に加え、規制緩和や成長につながる税制改革などが求められます。

一方の民間企業も引続き自助努力が必要ですが、合わせてこうした政府の動きに連動した成長の加速が求められます。これまでリーマンショック、東日本大震災、超円高とそれぞれ強化の局面で、徹底的な合理化で筋肉質な体質を強化してきた企業ほど、成長を加速化することが出来ると考えています。

コモンズ流の運用は、企業の価値を評価するにあたり、長期的な財務状況の変化に対する考察や、経営者・ガバナンス・企業文化などの非財務情報に対するアプローチを特長としており、企業が長期的に価値を高めていける「強い企業」であるかどうかを見極めていきます。世界の株価に後れを取っていた日経平均株価も、リーマンショック直前の株価である12,214円に対してあと1,300円程度（1月18日現在）に迫っていますが、コモンズ30ファンドに組み入れられている企業は、既に3分の2の企業がリーマンショック前の株価を超えて来ています。業績面でも四季報ベースでは来期も30社中11社が史上最高益を更新する見込みです。

まだまだ、世界の景気も不透明ですが、当社が投資対象としている企業は筋肉質な体質に変貌してきていると考えています。相場の芽は、中期的にもまだ若いと思いますが、全体的な水準訂正の後には、本格的に業績を評価する局面に入り、体質改善の進んだ企業の株価の上昇が期待できると考えています。

足元の市場の急進に対しても当社の運用スタイルが変わることはありません。むしろ、こうした時ほどリスク点検を怠らず、しっかりと運用していきたいと考えています。

引続き当ファンドにご期待ください。よろしくお願いたします。

運用責任者：伊井哲朗

● 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 銀 行)	148円 ( 71) ( 71) ( 6)
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	15 ( 15)
(c) 保 管 費 用 等	13
合 計	176

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

● 売買および取引の状況 (2012年1月19日~2013年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
コモンズ30マザーファンド	千口 541,715	千円 712,411	千口 187,678	千円 254,605

(注) 単位未満は切捨て。

● 親投資信託受益証券の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	コモンズ30マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,218,807千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,557,555千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.86

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●主要な売買銘柄 (2012年1月19日～2013年1月18日)

コモンズ30 マザーファンドにおける株式の主な売買

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
クラレ	106.7	119,232	1,117	国際石油開発帝石	0.202	92,580	458,319
国際石油開発帝石	0.202	101,873	504,322	H O Y A	37.5	69,881	1,863
丸紅	190	95,561	502	森精機製作所	76	65,072	856
カカクコム	42.5	95,157	2,238	ユニ・チャーム	13.9	58,542	4,211
エア・ウォーター	77	79,678	1,034	テルモ	19	55,108	2,900
ユニ・チャーム	18.3	79,559	4,347	N E C	327	54,522	166
コマツ	24.1	54,054	2,242	日揮	19	45,547	2,397
ディスコ	12.9	49,909	3,868	エア・ウォーター	43	41,185	957
三菱商事	31.7	49,703	1,567	ダイキン工業	12.1	37,269	3,080
楽天	29.07	49,494	1,702	シスメックス	11.5	36,680	3,189

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●利害関係人との取引状況等 (2012年1月19日～2013年1月18日)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

●組入資産の明細  
親投資信託残高

	期首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
コモンズ30 マザーファンド	1,130,788	1,484,825	2,326,721

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末におけるコモンズ30 マザーファンド全体の口数は2,299,921千口です。

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

●投資信託財産の構成

2013年1月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コモンズ30 マザーファンド	2,326,721	98.3
コール・ローン等、その他	40,000	1.7
投資信託財産総額	2,366,721	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●資産、負債、元本および基準価額の状況

2013年1月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,366,721,198円
コモンズ30 マザーファンド(評価額)	2,326,721,198
未 収 入 金	40,000,000
(B) 負 債	41,939,555
未 払 収 益 分 配 金	32,459,900
未 払 解 約 金	2,415,377
未 払 信 託 報 酬	6,076,067
そ の 他 未 払 費 用	988,211
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,324,781,643
元 本	1,622,995,038
次 期 繰 越 損 益 金	701,786,605
(D) 受 益 権 総 口 数	1,622,995,038口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額(C / D)	14,324円

(注) 期首元本額 1,203,899,075円  
 期中追加設定元本額 580,745,237円  
 期中一部解約元本額 161,649,274円

●損益の状況

(2012年1月19日～2013年1月18日)

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	472,186,333円
売 買 益	490,690,209
売 買 損	△ 18,503,876
(B) 信 託 報 酬 等	△ 22,682,267
(C) 当 期 損 益 金(A + B)	449,504,066
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 98,368,387
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	383,110,826
(配 当 等 相 当 額)	( 327,784,858)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 55,325,968)
(F) 計 (C + D + E)	734,246,505
(G) 収 益 分 配 金	△ 32,459,900
次 期 繰 越 損 益 金(F + G)	701,786,605
追 加 信 託 差 損 益 金	383,110,826
(配 当 等 相 当 額)	( 328,930,048)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 54,180,778)
分 配 準 備 積 立 金	318,675,779

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(34,389,162円)、費用控除後の有価証券等損益額(255,333,575円)、信託約款に規定する収益調整金(383,110,826円)および分配準備積立金(61,412,942円)より分配対象収益は734,246,505円(10,000口当たり4,524円)であり、うち32,459,900円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

●お知らせ

【分配金のお知らせ】

	第 4 期
1 万 口 当 たり 分 配 金 (税 引 前)	200円

◇お手持り分配金は、1月18日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。  
 ◇分配金は普通分配金に課税され、一律10%（所得税7%、地方税3%）となります。  
 ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

【お知らせ】

社団法人投資信託協会の一般社団法人への移行に伴う約款変更を行いました。（2013年1月4日付）

※本運用報告書作成時点においては、当期間に係る当ファンドの監査は終了しておりません。

## ●寄付についてのご報告

□第3回「コモンズSEEDCap（社会起業家応援プログラム）」について

よい世の中を次世代につなげる「共感資本」の清い滴は、コモンズ30ファンドに投資してくださるお客さまの手元から始まります。全国の多くの方々が、このビジョンに共感してコモンズに寄り集まれば「共感資本」の大河が生まれ、社会的イノベーションの原動力となります。第3回「コモンズSEEDCap（社会起業家応援プログラム）」の寄付金（当社が受け取る信託報酬の1%相当。ファンドからではありません）を認定NPO法人「侍学園スクオーラ・今人」という若者の自立を支援する学校に寄付いたしました。「自ら動く」経験を通じ、社会的弱者に「基本的な生きる力」を育成する。目の前の社会問題を福祉事業という位置付けではなく、あくまでも「社会投資」という観点で現場に立つ情熱と行動力を応援していきたいと考えています。

以下、侍学園 スクオーラ・今人理事長の長岡秀貴さんからのメッセージです。

～メッセージ～

この度は「第三回コモンズSEEDCap」の寄付先に選定頂けたことを、法人一同心から感謝申し上げます。心理学者ウィリアム・ジェームズは「人間性の最も根源的な特徴は自分を高く評価してほしいという願望を持っていることである」と述べています。我々の活動も、誰もが例外なく抱いているこの願望を満たすことをミッションと掲げ、社会資源としての存在意義を見出そうとしますが、我々自身もこの願望を抱いていることを、皆様のご寄付によって実感しました。皆様から評価され、期待されることが、どれだけNPOにとって大きな勇気となり、エネルギーとなるか。これをアウトプットすることも、皆様への恩返しであると痛感しております。

政界の紆余曲折も「明日」への暗い影を落としておりますが、その「明日」を担う「若年者」の現状は過酷です。まだ、就労率と戦えるレベルの若者たちは、自らの力を発揮し、この社会の流れに何とかしがみつこうとすることが出来るかもしれません。しかしながら、多様な成育歴や社会的背景を元に、様々な不全状態に陥ってしまった若者たちは、流されるところか、溺れる寸前にいます。もはや「自力で泳ぎ切れ！」などとは言えない苦しい現実があります。引きこもりの平均年齢は30歳を超え、わずか10年で10歳引きあがりました。この数字は、彼らを国として「黙殺」してきたことを意味します。「自己責任」「家族責任」といった類の意見も少なくありませんが、このまま放置すれば間違いなく、労働者としての「投資側期間」は終わり、労働投資期間を経ずに「受給側」にならざるを得ません。我々は、この若年者支援を、支援としてではなく「社会投資事業」と位置付け、彼らを「最少最短の支援」で社会へ参加させることを中心に活動しています。この社会問題を解決するためには、対処療法的「合宿型自立支援」「有償就労訓練事業」「家庭への支援」と、近い将来「若年者」になりうる「子どもたちへの支援」「母親子育て支援」も視野に入れ、地域に根差した、包括的、総合的支援団体をめざし活動を拡大していく所存です。皆様のご寄付は、法人の活動を支える大きな原資として活用させていただきました。

大震災から二年。この国は大きな傷を負いました。しかしながら、「人が生きる」ということを心の底から感じ、考える機会を頂いたことも確かです。これからの日本という国を担う、若者・子どもたちが、世界中で一番「命の大切さ」と「生きる幸せ」を感じられる社会を作るためには、むしろ大事なきっかけであるかもしれません。あの日。失われた尊い命を「つなぐ命」として大切にしていけるにも、我々なりのやり方で、「生きる」をカタチにし、日本中、世界中にモデル発信していくことを、皆様にお誓い申し上げます。

この度の皆様のご評価を胸に、ご期待に沿えるよう、法人一同不惜身命の覚悟で活動してまいります。皆様の明日が素晴らしい明日になることを信州の地からお祈り申し上げますとともに、御礼の挨拶といたします。

平成25年1月

認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人  
理事長 長岡秀貴

# コモンズ30 マザーファンド

＜第4期＞：2013年1月18日

計算期間：平成24年1月19日～平成25年1月18日

「コモンズ30 マザーファンド」は、1月18日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>①主として、国内外の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している株式の中から、投資対象選定の基準に照らして優良と判断した企業に投資します。</p> <p>②ベンチマークは設けず30銘柄程度に厳選投資を行い、原則として短期的な売買は行わず長期保有することを基本とします。</p> <p>③株式の組入比率は、市場環境に応じて、投資信託財産総額の30%以上を基本とします。</p> <p>④市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準になったとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要運用対象	国内外の金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
投資制限	<p>株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以内とします。</p>

## ●設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	参考指数(TOPIX)	期中騰落率	株式組入比率	純資産総額
(設定日) 2009年1月19日	円 10,000	% —	817.73	% —	% —	百万円 118
1期(2010年1月18日)	14,775	47.8	957.55	17.1	90.6	530
2期(2011年1月18日)	14,080	△4.7	931.58	△2.7	96.1	1,685
3期(2012年1月18日)	12,235	△13.1	734.98	△21.1	85.1	2,314
4期(2013年1月18日)	15,670	28.1	911.44	24.0	97.5	3,604

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。



●当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	参考指数 (TOPIX)		株式 組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2012年1月18日	円 12,235	% —	734.98	% 85.1
1月末	12,384	1.2	755.27	80.0
2月末	13,375	9.3	835.96	81.1
3月末	13,858	13.3	854.35	94.6
4月末	13,467	10.1	804.27	94.5
5月末	12,344	0.9	719.49	△ 2.1
6月末	12,866	5.2	770.08	4.8
7月末	12,600	3.0	736.31	0.2
8月末	12,675	3.6	731.64	△ 0.5
9月末	12,896	5.4	737.42	0.3
10月末	12,934	5.7	742.33	1.0
11月末	13,667	11.7	781.46	6.3
12月末	14,534	18.8	859.8	17.0
(期末) 2013年1月18日	15,670	28.1	911.44	24.0

(注) 騰落率は期首比です。

●当期の運用経過

P 3～8 をご参照ください。

●1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	17円 (17)
合 計	17

(注) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 円未満は四捨五入してあります。

●売買および取引の状況 (2012年1月19日～2013年1月18日)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
国内	千株 930	千円 1,528,932	千株 645	千円 689,874
上 場	(118)	( — )		

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

●株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	2,218,807千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,557,555千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.86

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●主要な売買銘柄 (2012年1月19日～2013年1月18日)

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
クラレ	106.7	119,232	1,117	国際石油開発帝石	0.202	92,580	458,319
国際石油開発帝石	0.202	101,873	504,322	H O Y A	37.5	69,881	1,863
丸紅	190	95,561	502	森精機製作所	76	65,072	856
カカクコム	42.5	95,157	2,238	ユニ・チャーム	13.9	58,542	4,211
エア・ウォーター	77	79,678	1,034	テルモ	19	55,108	2,900
ユニ・チャーム	18.3	79,559	4,347	N E C	327	54,522	166
コマツ	24.1	54,054	2,242	日揮	19	45,547	2,397
ディスコ	12.9	49,909	3,868	エア・ウォーター	43	41,185	957
三菱商事	31.7	49,703	1,567	ダイキン工業	12.1	37,269	3,080
楽天	29.07	49,494	1,702	シスメックス	11.5	36,680	3,189

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●利害関係人との取引状況等 (2012年1月19日～2013年1月18日)

当期中における利害関係人との取引状況等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

●組入資産の明細  
国内株式（上場株式）

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
		株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
<b>建設業 (2.2%)</b>			
日揮	30	29	76,386
<b>化学 (21.6%)</b>			
クラレ	—	106.7	122,918
旭化成	152	234	123,318
信越化学	16.7	22.1	124,423
エア・ウォーター	71	105	121,275
資生堂	41	10	12,570
日東電工	20.1	27.1	131,977
ユニ・チャーム	21	25.4	123,063
<b>医薬品 (9.9%)</b>			
エーザイ	18.1	29.3	114,123
久光製薬	17.4	25.5	117,172
第一三共	44	79	117,236
<b>金属製品 (3.4%)</b>			
リンナイ	12	19	119,510
<b>機械 (21.6%)</b>			
森精機製作所	76	—	—
ディスコ	15.5	27.4	137,548
SMC	5.5	7.9	123,556
コマツ	32	52.6	124,767
クボタ	99	119	124,355
ダイキン工業	26.4	37.4	123,981
マキタ	22.3	29.4	124,362
<b>電気機器 (9.4%)</b>			
NEC	327	—	—
堀場製作所	30.7	44.3	117,527
シスメックス	28.8	28.5	122,265
東京エレクトロン	14.6	21.9	90,337
<b>輸送用機器 (7.1%)</b>			
日産自動車	83	143.9	126,344
ホンダ	22.5	35.3	121,432

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
		株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
<b>精密機器 (—%)</b>				
テルモ	16	—	—	
HOYA	37.5	—	—	
<b>卸売業 (7.0%)</b>				
丸紅	—	190	121,980	
三菱商事	37	68.7	124,621	
<b>小売業 (7.1%)</b>				
ローソン	15.4	18	110,520	
ファーストリテイリング	3.9	6	140,580	
<b>サービス業 (10.7%)</b>				
カカクコム	—	42.5	141,950	
楽天	0.87	148.7	117,324	
ベネッセホールディングス	21	29.1	115,818	
合計				
	株数・金額	1,358	1,762	3,513,242
	銘柄数<比率>	31	30	<97.5%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

●投資信託財産の構成

2013年1月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 3,513,242	% 93.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	242,965	6.5
投 資 信 託 財 産 総 額	3,756,207	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

●資産、負債、元本および基準価額の状況

2013年1月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,756,207,477円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	170,210,105
株 式(評価額)	3,513,242,300
未 収 入 金	70,339,043
未 収 配 当 金	2,415,750
未 収 利 息	279
(B) 負 債	152,182,805
未 払 金	112,182,805
未 払 解 約 金	40,000,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,604,024,672
元 本	2,299,921,998
次 期 繰 越 損 益 金	1,304,102,674
(D) 受 益 権 総 口 数	2,299,921,998口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	15,670円

(注) 期首元本額 1,891,397,810円

期中追加設定元本額 599,929,542円

期中一部解約元本額 191,405,354円

(注) 当マザーファンドの当期末元本額におけるペーパーファンド別内訳は、次の通りです。

コモンズ30ファンド 1,484,825,270円

コモンズ30ファンド (適格機関投資家用) 815,096,728円

●損益の状況

(2012年1月19日～2013年1月18日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	58,084,293円
受 取 配 当 金	57,972,750
受 取 利 息	111,469
そ の 他 収 益 金	74
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	703,750,505
売 買 益	741,249,830
売 買 損	△ 37,499,325
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	761,834,798
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	422,702,199
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	187,622,749
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 68,057,072
(G) 計 (C+D+E+F)	1,304,102,674
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,304,102,674

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



commons  
asset management, inc.